

19

-中・西部-

住岡 修

夕焼け宿 民宿「富海の家」オーナー



| 応募のきっかけは?

埼玉県で働いていた頃から、いつか田舎暮らしをしたいと思っていましたが、収入や生活のことを考えるとなかなか踏み出せませんでした。東日本大震災がきっかけで実家のある広島市で働いたのですが、一度都会を離れてみると、何とかなると思えるようになりました。中国地方のもっと田舎で暮らしてみたいと思いました。たまたまテレビで草木染を見て、自然のものでのづくりをしてみたいと思っていたところ、藍染が活動内容の地域おこし協力隊募集があったため、応募しました。

| 隊員時代の思い出を教えてください

着任前は、田舎暮らしをイメージしていましたが、実際には富海地域は国道や鉄道があり、交通の便が良いため、生活面のギャップはありませんでした。活動報告会の時にはたくさんの地域の

方に来ていただき、興味を持ってもらえたのが印象的でした。

| 大変だったことや、どうやって乗り越えたのかを教えてください

イベントをする際に、自分で補助金申請をして資金確保をしたのは大変でした。普段の生活の中で人との繋がりを大切にしていたこともあり、イベントの実施自体は、地域の方が手伝ってくれました。

一方、人間関係に悩んだこともあります。相手のことを知ることで乗り越えることができました。



隊員時代: 藍染体験イベント



| 現在、そしてこれからについて

民泊とアルバイトで生計を立てています。収入は減りましたが、イメージ通りの生活スタイルで、満足しています。

お客様にも恵まれ、「来てよかった」「また来たい」と言っていただくのは嬉しいですね。

現在は、県内や広島県からのお客様が多いのですが、今後は東京や大阪などからも来てほしいと思います。「寝る場所」ではなく、「ここ(地域)に来ること」が目的となるような宿にしたいです。富海の良さを知ってもらい、富海ファンが増えてほしいですね。

| 協力隊を目指す人や後輩へひと言

やりたいことを人に話し動くことで、また、起業活動は、任期中から少しづつ準備を進めることで、退任後まもなく、希望する内容で開業することができます。焦らず自分のスタンスを貫くことも大切です。

すみ おか おさむ
住岡 修さん

| 協力隊として

| 着任地 | 防府市(富海)
| 活動期間 | 2015年11月～2018年10月
| 活動内容 | 藍の栽培、藍製品の商品開発、販路拡大

| 現在の仕事

夕焼け宿 民宿「富海の家」オーナー
| ホームページ | <https://tonomi.business.site/>



住岡さんのあゆみ

2015.4 協力隊応募を思い立つ

2015.11 協力隊着任

藍染研修や染料づくり、藍の栽培を通じて知識を高める

2017.9 民泊物件確保

2018.1 結婚

子ども夢基金を活用したイベント開催

2018.5 民泊開業相談(市、消防署、保健センター)

「ほうふ幸せますまち博」で、富海の歴史を活用したイベント開催

2018.10 協力隊卒業

2018.11 開業届提出(改装を進めながらプレオープン)

2019.7 オープニングイベント七夕まつり開催

学校の夏休みに合わせ、来客数が増加

